

揖保川のこれからの川づくりに関する説明会の開催報告

平成 20 年 2 月 9 日 (土) ~ 10 日 (日)

平成 20 年 2 月 9 日 (土) ~ 10 日 (日) の 2 日間をわたり、宍粟市、たつの市、姫路市網干地区の 3 箇所において、河川管理者より河川の整備案に対する環境影響評価の分析結果について住民の皆さんに説明を行い、ご意見や質問をおうかがいしました。ここでは、代表的なご意見、ご質問についてご紹介します。



比較案について



- ①A案からS案までであるが、どれを施工されるのですか。
- ②昭和 45 年の洪水被害に対して対策してきた工事の中で、効果のあった手法を採用しているのも1つの方法だと思います。

河川管理者からの回答

単純に各案の良い悪いを比較するのではなく、上中下流の治水の安全度バランスや被害が発生した場合のことを考えながら、補足する対策なども検討して、1つの案を次回にお示ししようと考えています。

支川の被害について



- ③平成 16 年 9 月の台風 21 号による洪水で、上流の支川は氾濫寸前の状況でした。揖保川だけよくなるのではなく、支川の対応も考えてほしいです。

河川管理者からの回答

国管理の揖保川の河川整備計画にあわせて、支川の計画も一部見直しを図る予定です。国との流量の整合を図りながら、県や市と検討・調整を進めます。

放置された水田がおよぼす影響について



- ④これまでは水田が雨を浸透させる役割を果たしていましたが、今は放置された水田が増え、流量計算の中に大きな誤差が出てくるのではないですか。

河川管理者からの回答

放置された水田は大きな問題です。流量の側面では水田の 2 つの機能をみえています。1つは地下水の維持やかん養の機能です。これは平常時、雨が降ってなくても川に水が流れている機能と同じものです。2つ目は、雨が降ったときに水田で貯留する機能です。この機能により降った雨が川に流れ出るまでの時間差ができます。流量の計算上はこの時間差を見込んでいます。この機能休耕田になっても失われることはないと考えています。ただし、宅地になったりコンクリートで覆われてしまうと、問題になります。

揖保川流域委員会のメンバーを紹介します

2人25は
委員です



中農 一也 委員
学校法人誠和学院日本工科大学専攻校校長
(都市環境デザイン・まちづくり)

子供の頃、川に飛び込んだり、潜ったり、泳いだり、魚釣りしたりで、川で遊んだ楽しい思い出が一杯ありますし、川の景観が故郷の原風景の一つとして今でも脳裏に焼き付いています。今の子供達にも、いろんな遊びや思い出ができる川づくりをしたいという思いで、流域委員会に参画しています。

川は、ほんらい治水、利水の役割だけでなく、多様な生き物の貴重な棲息の場であるとともに、人々が働き、憩う貴重な生活空間です。ですから、今後は、川の在り様をまちづくりの中でしっかりと位置づけ、川ほんらいの多様な機能と魅力を引き出すような河川空間の整備が望まれます。揖保川は、自然の河川環境がまだまだ残っており、歴史的な要素も豊かで、上流から下流にかけて流域市町ごとに多様な個性を持っていますので、実に魅力的な川です。その自然環境、歴史文化、産業、市民生活などの揖保川の個性と魅力を、流域市町のまちづくりとの関係性や整合性を保ちながら、最大限に発揮し、新たな魅力づくりと共に流域のまちづくりや地域活性化に貢献できる整備計画になればと思っています。

ここ 10 年ほど、全国各地で川を舞台にしたまちづくりが活発になっており、年一回 (七夕の日)、全国の元気な川の住民グループが集まるワークショップがあります。私もその実行委員として参画していますが、揖保川もその仲間入りできればと思っています。

揖保川流域委員会ニュースレター

いぼがわ せせらぎだより

2008 年
(平成 20 年)
3 月発行

No.32

このニュースレターはホームページでもごらんになれます。

<http://www.iboriver.jp/>

表紙の写真はたつの市揖西町にお住まいの瀬田幸生さんから寄せられた「シラサギ」の写真です。



揖保川流域委員会は、「揖保川河川整備計画の案(直轄区間)」の策定にあたり、河川整備計画の原案及び関係住民意見の反映のあり方について意見を述べることを目的としています。

委員会は公開ですので、どなたでも傍聴することができます。また、平成 14 年 3 月より開催されている委員会の議事録及び資料は揖保川流域委員会のホームページでごらんになることができます。
<http://www.iboriver.jp/>

揖保川流域委員会 庶務



請負者：株式会社 建設技術研究所 中国支社
担当：竹内、中野
住所：〒732-0052 広島市東区 町 1-13-20 ディア光町
電話番号：082-261-3805 FAX 番号：082-261-3740
eメール：ibogawa-office@ctie.co.jp



第25回 揖保川流域委員会



揖保川河川整備計画段階における環境等影響分析報告書について、流域委員会並びに地域住民の皆さんからの意見に対して、河川管理者が修正内容や補足の説明を行いました。

さらに、この分析結果に基づき、河川整備計画での治水の目標と整備内容の提案、考え方の説明が行われました。

揖保川河川整備計画のながれ



今後の予定

日時: 平成20年3月23日(日)
13:00 ~ 16:00
場所: 太子町立文化会館 あすかホール 研修室

1 まず、分析対象となった「複数案」はこれだけ

分析対象となった複数案11案について、環境・社会・経済・技術面での影響分析を実施しました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S				
現状	目標洪水: 昭和45年9月洪水				目標洪水: 昭和47年7月洪水						目標洪水: 昭和51年9月洪水												
現状のまま手を付けない	河川掘削優先案	築堤優先案	新規治水ダム+河川掘削優先案	新規治水ダム+築堤優先案	遊水地+河川掘削優先案	遊水地+河川掘削優先案	河川掘削優先案	築堤優先案	新規治水ダム+河川掘削優先案	新規治水ダム+築堤優先案	遊水地+河川掘削優先案	遊水地+河川掘削優先案	河川掘削優先案	築堤優先案	新規治水ダム+河川掘削優先案	新規治水ダム+築堤優先案	遊水地+河川掘削優先案	遊水地+河川掘削優先案	河川掘削優先案	築堤優先案	新規治水ダム+河川掘削優先案	新規治水ダム+築堤優先案	遊水地+河川掘削優先案

分析報告書において考えられる19案から分析対象とした複数案11案

2 河道対策案と貯留施設案(ダム・遊水地)どっちにするの?



ダム案の想定事業費は約420億円、遊水地案では約290億円かかります。しかし、今回の目標洪水では、ダムや遊水地をつくっても河道対策の事業費はそれほど低減せず、貯留施設案の方が事業費が高くなります。事業費が及ぼす河川環境への影響も大きくかわりません。

委員からの意見

- 地球温暖化による潮位の上昇や集中豪雨の影響について、整備計画に反映する必要があると思います。
- 中上流は暫定堤防でいいですか。(河川管理者からの回答) 完成堤防は100年規模で計画高水位を決めて、さらに余裕高として1.5mを足しますが、暫定堤防はこの余裕高が含まれていません。予算には限りがあるので、高さ高くするより堤防を整備する距離を長くしたいと思っています。

傍聴者からのご意見

- 住民説明会のアンケートで河床があがっているという意見が多くあります。何らかの対応は必要だと思います。
- 水害の経験もありますが、揖保川にはいい思い出もあります。生き物もすめるような川を望みます。

3 治水目標はどれにするの?

下流に比べて河川改修の遅れている中上流部を対象することは必要です。しかし、現状の揖保川では、中上流部を大きく改修した場合、一定規模以上の洪水が発生した時、下流部がこれまで以上に危険となる可能性があることが分かってきました。



現状では中小規模の洪水でも、堤防の整備率が低い中上流部に於いて被害が発生しています。そこで、中上流部で被害が起きないように整備を行うと、今まで中上流部であふれていた洪水が下流へ流れていくので、下流で新たな被害が発生する可能性があります。

昭和51年9月洪水 目標洪水のうち、最も上下流バランスが図れる昭和51年9月洪水を目標にします。

4 掘削優先案と築堤優先案 どっちにするの?



環境に対する影響は、どちらの対策でも致命的なものはありませんでした。ただし、丸石河原や河口干潟、河川の植生や瀬・淵などの環境に対する一時的な改変の程度について比較すると、築堤優先案のほうが小さくなります。また、かかる費用を比較すると掘削優先では約830億円、築堤優先案では約600億円かかります。よって、環境の面、事業費の面から築堤優先案を選びました。

5 治水対策はこの案にするの?

0案をもとにして治水対策を実施します

0案 昭和51年9月洪水 築堤優先案

昭和51年洪水を目標として、築堤優先案の0案をもとに治水対策を実施します。ただし、さらに上下流のバランスの確保が必要です。

- 上下流のバランスを確保するための対応方針として、
- 中上流の堤防整備は暫定堤防とする。下流の堤防整備は完成堤防とする。
 - 浸水エリアに人の居住や生産活動拠点がいない場合、今回の整備計画では堤防整備は実施しないこととする。

魚のぼりやすい川づくり委員会

どんなことをするの?

「揖保川水系 魚のぼりやすい川づくり委員会」は揖保川水系における堰・頭首工などの河川横断構造物において、上下流の連続性を確保し、魚類などの生物の生息環境を向上させることを目的として「魚のぼりやすい川づくり計画」を策定するための会議です。

揖保川は魚のぼりにくいのか?

川にすむ魚の中にはアユのように川と海とを行き来するような魚もいます。ところが、揖保川には堰が多くあるので、必ずしも魚が川を自由に行き来できるのぼりやすい川とはいえません。

堰には魚道がついているのでは?

堰には魚のぼることができるように魚道が設置されているところもあります。しかし揖保川すべての堰に魚道があるわけではありません。さらに、魚道があっても、魚のぼりにくい魚道もあります。

魚のぼりやすい川にするためには?

委員会では有識者、漁業者、利水者、地元自治体、河川管理者と話し合いを重ねながら、揖保川における現状と問題点を整理し、魚道の新設、改善について平成20年度をめぐりに計画をたてていく予定です。

第1回委員会「現状と問題点の整理」

- 3/5 揖保川の流域および河川特性
- 生物の生息状況とその特徴
- 生物移動における河川横断施設の評価

第2回委員会「目標設定と具体的な問題の把握」

- 3/17 「魚のぼりやすい川づくり」の目標設定(完結すべき生活史のために着目する生物種)
- 目標達成のための河川横断施設との問題と改善上の着眼点

第3回委員会「問題点の改善方針」

- 予定 目標達成のための河川横断施設の改善の視点
- 河川横断施設の優先順位
- 計画策定(直轄区間)

この委員会に関するお問い合わせはこちら
「揖保川水系魚のぼりやすい川づくり委員会」事務局
国土交通省 姫路河川国道事務所 調査第二課
電話 079-282-8211(代表)